

## ～米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会はH30. 2. 16をもって解散いたしました。～

平成 19 年 2 月 22 日に初めて馬毛島が FCLP 訓練候補地として報道されたことを受け、米軍基地の移設候補地として西之表市の馬毛島が検討されていることについて、周辺住民の生活に関わる熊毛地域共通の問題と位置付け、平成 19 年 4 月に本協議会を設置いたしました。

平成 23 年 6 月 21 日に日米安全保障協議委員会（2 プラス 2）において、「馬毛島を検討対象とし、米軍の空母艦載機の恒久的な施設として使用されることになる。」と合意され、翌月の 7 月 2 日には防衛副大臣や事務次官等関係者が種子島へ来島し、本問題への理解を求めため説明がなされました。

当時の本協議会は、騒音や日常生活の安全、基地経済への依存など米軍基地等の恒久的な移設により、本地域への悪影響が懸念されることを理由に反対の立場を示し、反対署名活動や各種団体への説明会、防衛省への抗議活動を行っていましたが、市民間においても、市民団体等による反対運動や防衛省による住民説明会が行われるなど本問題に係る活動が活発になっていました。

本協議会は設立当初、反対色の強い活動を展開しており、このことが原因で平成 25 年 2 月 15 日に中種子町議会、平成 27 年 7 月 14 日に南種子町議会が離脱しました。離脱の理由として、中種子町議会は「国に対し説明を求め、町にどのようなメリット・デメリットがあるか判断したい」、南種子町議会は「公正中立の立場で調査し、町民に情報を伝えることが議会の責務。」としています。

本協議会で本問題の取組みを始め約 10 年の年月が流れ、その間、本問題に係る民意も各市町において異なることが明らかにされてきました。

平成 29 年 3 月に改選された西之表市長が本協議会の新会長となった平成 29 年 5 月 17 日の通常総会時に、中種子町長及び南種子町長がこれまでの反対色の強い協議会では離脱も辞さないという意向に、新会長が「本協議会は賛成・反対を問わず、ニュートラルな立場で情報を収集し、郡民に正確な情報を提供する組織である。」と協議会の方向性を示し、すでに離脱していた中種子町議会及び南種子町議会の再加入についても言及しました。

しかし、これまでの反対色の強い本協議会の性質を払しょくすることは困難との意見もあり、平成 29 年 12 月 26 日の臨時総会では中種子町長が地元議会との足並みを揃える必要があることを理由に離脱し、同日、南種子町長も書面にて離脱をする旨表明されました。



～ 解散総会の様子 ～

このことから、本協議会においては、本問題の主地域である種子島の関係自治体のほとんどが離脱した状態での本協議会の存続は極めて困難であり、解散が妥当であるとの結論に達したところであります。

本日をもって本協議会を解散しますが、本問題は熊毛地域の重要課題であることは明らかでありますので、今後も各市町間において情報共有を図り、本問題に係る正確な情報を郡民に提供していくよう連携を深めてまいります。

## ※参考（H29年度の事業経過について）

### （経過概要）

平成 29 年 5 月 2 日	* 第 1 回担当課長会（於：西之表市役所） ⇒ 通常総会の資料内容確認
平成 29 年 5 月 17 日	* 第 1 回通常総会（於：西之表市役所） ⇒ 協議会決算及び監査報告 ⇒ 歳入歳出補正予算（案）
平成 29 年 6 月 1 日	* 協議会だより発行 ⇒ 第 1 回通常総会について
平成 29 年 7 月 21 日	* 南種子町議会への説明 ⇒ 第 1 回通常総会の会議内容の報告 ⇒ 今後の活動計画について
平成 29 年 8 月 9 日	* 第 1 回臨時総会（於：ホテルウェルビュー鹿児島） ⇒ 防衛省との意見交換について ⇒ 今後の協議会活動について ※ 当初、8 月 3 日を計画していたが台風により 9 日へ延期された。
平成 29 年 10 月 25 日	* 第 2 回担当課長会（於：県市町村自治会館） ⇒ 協議会の今後の方向性について
平成 29 年 12 月 26 日	* 第 2 回臨時総会（於：西之表市役所） ⇒ 協議会の今後の方向性について ⇒ 第 2 回通常総会の開催について ※ 解散が決定
平成 30 年 2 月 2 日	* 第 3 回担当課長会（於：西之表市役所） ⇒ 解散総会の進め方について協議
平成 30 年 2 月 16 日	* 解散総会（於：アクアガーデンホテル福丸）